

(午後)

「ヨーロッパ価値観調査の意義とその内容」

札埜和男 (関西学院大学)

「ドイツ・ケルン大学セントラルアーカイブの歴史と国際比較調査の発展」

真鍋一史 (関西学院大学)

「2000年国民生活時間調査の結果」

三矢恵子 (NHK)

「世論調査とデータの科学」

林 知己夫 (統計数理研究所)

午後には以上の4報告に続き、堀江湛・尚美学園大学教授による「投票行動研究と世論調査技術の問題点」と題された講演が行われた。世論調査は人口研究とは直接結びつきにくいと思われるかもしれないが、欧米の人口研究がマイクロデータの分析に重点を置くようになって以来、特に人口行動に対する価値観の影響を重視するような状況も相まって、サンプル調査方法論と世論調査に対する関心が高まっていることを忘れてはならないであろう。

なお、以上の報告・講演の要旨は同協会の機関紙『よろん (日本世論調査協会報)』第89号 (2002年3月) に掲載される予定である。また、2002年大会は11月15日に大阪府吹田市の関西大学で開催されることになっている。

(小島 宏記)

2001年度 (第36回) 日本都市計画学会学術研究論文発表会

社団法人日本都市計画学会による2001年度日本都市計画学会学術研究論文発表会は、2001年11月17日 (土)・18日 (日)、早稲田大学国際会議場 (東京都新宿区) で開催され、表題に人口の語を含む研究論文としては次の3つが発表された (○印は発表者)。

「人口密度指標を用いた都市の生活環境評価に関する研究—交通生活及び徒歩圏の地域生活施設を中心に—」

○海道清信 (名城大学)

「ニュータウンにおける人口変動推計手法に関する研究」

○石神孝裕 (助計量計画研究所)・黒川洸

「少子高齢化人口減少社会が都市内公共交通機関に与える定量的影響評価」

○円山琢也 (東京大学大学院)・室町泰徳・原田昇・太田勝敏

海道氏は、日本の主要49都市の DID 人口密度に注目し、人口の集中が自動車への依存の抑制と結びついていることなどを示した。石神氏の発表は、多摩ニュータウンの一部における過去30年の人口変動に注目して世帯推計の改善方法を論じるものであった。円山氏の発表は、千葉都市モノレールの利用者数を2050年まで予測するものであり、その基礎として千葉市内の447ゾーンについて将来人口推計を行っていた。また、これらの発表のそれぞれについて質疑討論が行われた。

なお、この発表会は第36回であるが、2001年は日本都市計画学会創立50周年にあたっている。

(今井博之記)

第74回日本社会学会大会

第74回日本社会学会は、11月24日、25日の両日、一橋大学で開催された。前回まで一般研究報告件数は上昇傾向にあり、全ての報告を2日間で終えるため今大会から一人あたりの報告時間は20分から15分に短縮され、一部の報告人数も6人を標準とすることになった。しかし、今回の一般研究報告

件数は266件で前回の365件より大幅に減少した。事務局では、一般研究報告が減少した主たる要因を、報告時間が短縮されたことにあると捉えているようである。部会の編成では、前回に比べて「民族・エスニシティ」が減少し、「福祉・保健・医療」が増加したようである。

本研究所からは、「産業・労働・組織2」部会で小島宏（国際関係部長）が、「女性の就業と妊娠ロス」というタイトルで報告した。また「国際・エリアスタディ2」で千年よしみ・阿部彩（国際関係部室長）が、「帰国生の海外滞在経験の長期的影響と適応ストラテジー」と題する報告を行った。また、二日目に行われた「社会調査の困難をめぐって：社会の中の社会調査」と題されたシンポジウムでは、山口一男氏（シカゴ大学）が「二次データ分析の問題と展望」という講演を行った。

（千年よしみ記）

2001年第2回韓国人口学会大会 「北朝鮮，日本，在米韓国人の人口に関する国際セミナー」

韓国人口学会（旧会長：朴 商台・西江大学教授，新会長：具 成烈・延世大学教授）の2001年第2回大会が2001年12月1日（土）にソウル特別市の延世大学で開催された。午前中には当日夕方の総会で交代した旧会長の挨拶に続き，第1セッション（韓国語）で最初の3報告が行われ，午後の第2セッション（韓国語）と第3セッション（英語）でそれぞれ次の3報告が行われ，その後に総会が行われた。

Session 1 Chair Sung-Yeal Koo (Yonsei University)

- 1."A Study of Estimating Income Elasticity of Tobacco Consumption of Urban Households"
by Won-Nyeon Kim (Korea University)
- 2."Conditions of Social Protection for Non-regular Employees"
by Jai-Joon Hur (Korea Labor Institute)
- 3."Social Transformation of Christian Population of Korea"
by Jang-Young Lee (Kookmin University) and Won-Kook Kang (Kookmin University)

Session 2 Chair: Kye-Choon Ahn (Yonsei University)

- 1."Determinants of Induced Abortion in Korea: A Comparison between Logit and Survival Analysis"
by Ki-Soo Eun (The Academy of Korean Studies)
- 2."Years of Life Lost due to Premature Death in Korea"
by Hye-Jeong Jang (Kyunghee University)
and Jea-il Myoung (Korea National University of Education)
- 3."Population Census in North Korea and Its Evaluation"
by Yoshikuni Ishi (Former President, Population Association of Japan)

Session 3 Chair: Hung-Tak Lee (Hankuk University of Foreign Studies)

- 1."Determinants of Japanese Attitudes toward Fertility and Policy Interventions"
by Hiroshi Kojima (National Institute of Population and Social Security Research, Japan)
- 2."Demography of Korean-American Population as Reflected in Year 2000 U.S. Census"